



臨床研究に関する情報の公開

作成日: 2026/5/29

研究課題名	消化器癌既存検体を用いた発癌・進行メカニズムの解析
研究の対象	2000年4月1日から2026年3月31日までに医学研究所北野病院で膵癌、胆道癌、肝臓癌、食道癌、胃癌、大腸癌やその他の難治性消化器癌、およびその前癌病変(腺腫、膵管内乳頭粘液性腫瘍など)、癌高リスク群(炎症性腸疾患、家族性大腸腺腫症、慢性膵炎、原発性硬化性胆管炎、膵胆管合流異常症、慢性肝炎、肝硬変、萎縮性胃炎など)を有する方で、診断・治療中・治療後に手術・内視鏡治療(ポリープ切除、内視鏡的粘膜下層剥離術、内視鏡的粘膜切除術)、生検などを受けた患者さん
研究目的・方法	本研究の目的は消化器癌の既存検体を用いて、腫瘍組織における遺伝子発現・タンパク発現などの解析により発癌および癌の進行メカニズムについて検討することです。難治性消化器癌の新たな診断や治療法、予防法の開発につなげていくことにより、予後改善が強く求められている難治性消化器悪性腫瘍に対する治療成績の向上に寄与することが期待されます。膵癌、胆道癌、肝臓癌、食道癌、胃癌、大腸癌やその他の難治性消化器癌およびその前癌病変などの手術検体や生検検体を用いて腫瘍に関連する遺伝子・蛋白発現、分子生物学的解析を行います。 研究期間: 許可日～2031年3月31日
研究に用いる試料・情報の種類	試料: 手術で摘出した組織・生検組織など 情報: 病歴、年齢、性別、診断名、予後、癌のステージ、局在、病理診断、手術日、検体採取日、基礎疾患など
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先: 〒530-8480 大阪市北区扇町 2-4-20 公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院 電話: 06-6312-1221、FAX: 06-6312-8867 公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院消化器内科 副部長 飯森啓 研究責任者: 公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院消化器内科 主任部長 八隅秀二郎